

金沢市持続可能な 観光振興推進計画 2026



Kanazawa City Sustainable Tourism Promotion Plan 2026

概要版

金沢市持続可能な観光振興推進計画2026の策定について

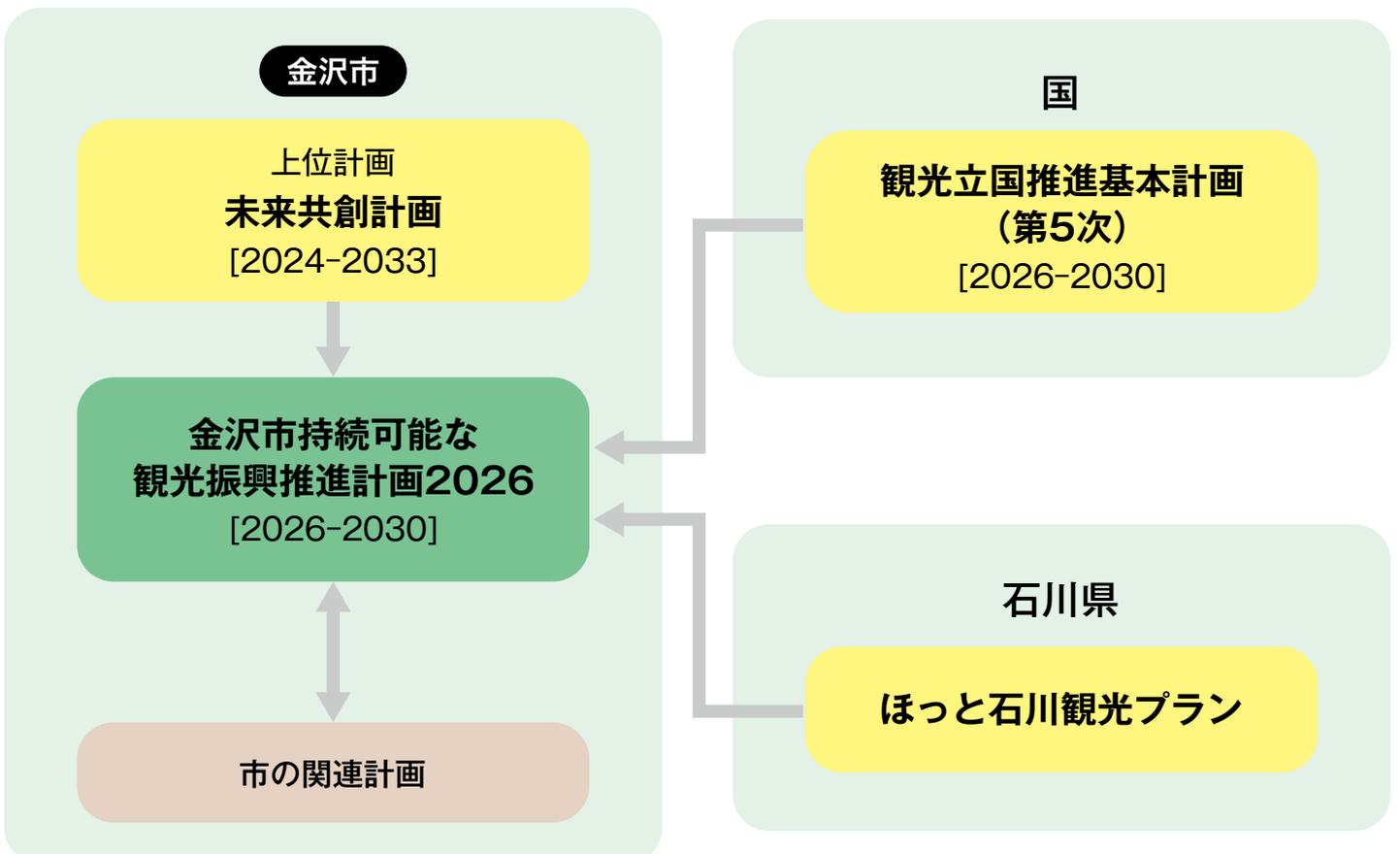
計画策定の目的と計画期間

金沢市では、平成27年3月の北陸新幹線金沢開業以降、国内外から多くの旅行者が訪れるようになった一方で、混雑や交通渋滞等、市民生活への影響も見られるようになっていました。しかし、令和2年に新型コロナウイルス感染症が拡大すると、世界的に観光需要が大きく落ち込み、金沢市の観光業界も大きな打撃を受けました。その結果、観光客の減少にとどまらず、人々の生活スタイルや意識にも変化がもたらされました。その状況下で、金沢市では令和3年3月に「市民と旅行者が共感を深め、『ほんもの』を未来へと紡いでいくまち」を戦略テーマとして、「金沢市持続可能な観光振興推進計画2021」を策定し、以降、コロナ禍を経て観光需要が回復し、特にインバウンドが増加する中、計画に基づく施策を着実に実践し、市民生活と調和した観光まちづくりを推進してきました。この間、令和6年の能登半島地震の影響もありましたが、再び多くの方が訪れるようになり、改めて市民生活への影響が懸念されるようになった一方で、これまで以上に、観光による経済活性化も期待されています。

こうした、市民生活への影響、不測の事態への対応、ニーズの多様化等、様々な課題に対する取組が求められることから、現計画の考え方をもとにしつつ、住む人と訪れる人双方にとって、さらに魅力的なまちとなるよう、令和8年度(2026年度)から令和12年度(2030年度)までの5年間に本市が取り組むべき観光戦略として、「金沢市持続可能な観光振興推進計画2026」を策定します。

計画の位置付け

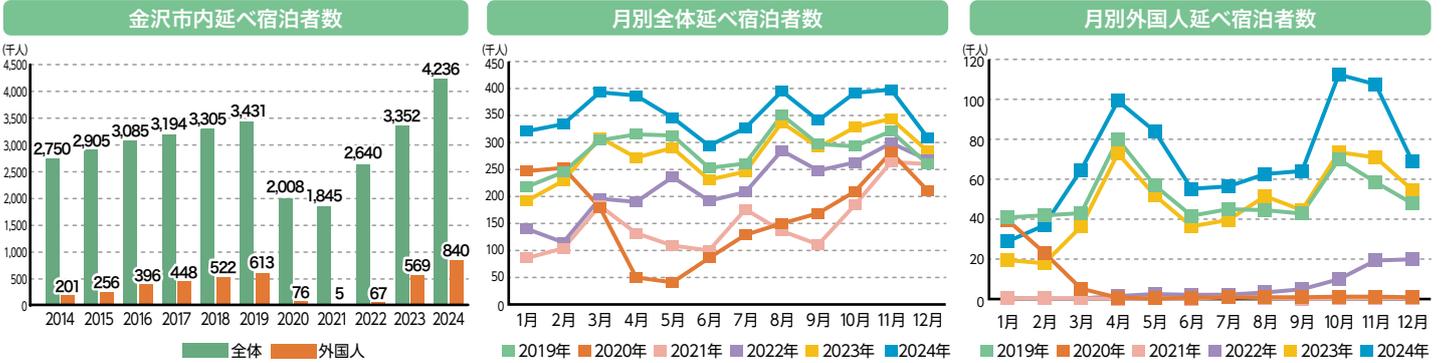
本計画は、国の「観光立国推進基本計画」や石川県の「ほっと石川観光プラン」との連携、整合性を図るとともに、金沢市都市像「未来を拓く世界の共創文化都市・金沢」の実現に向けた行動計画である「未来共創計画」を推進するためのプランと位置づけ、金沢交通戦略やまちづくり関連の計画、市民や事業者の取組等との整合性を図ります。また、国際基準に準拠して国が定めた「日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)」の考え方や指標とも整合性を図ります。



金沢市の観光の現状

金沢市内延べ宿泊者数と月別延べ宿泊者数

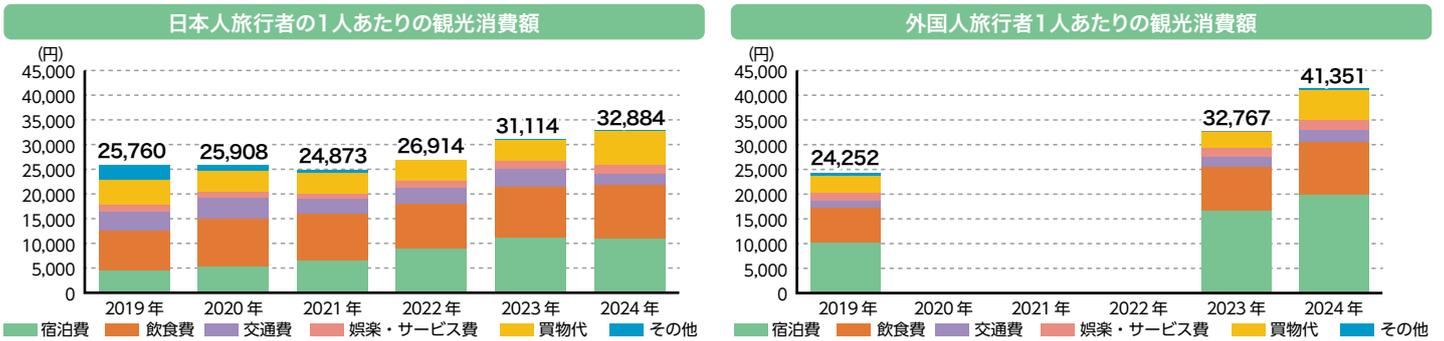
2024年は令和6年能登半島地震の影響もあり、市内延べ宿泊者数が424万人となり、コロナ前を上回り過去最高を記録しました。特に外国人は84万人を超え、前年比約1.5倍と急増しました。月別で見ると、3～5月と8～11月が繁忙期、6～7月と12～2月が閑散期となっています。



出典：金沢市観光調査結果報告書「金沢市内宿泊施設動向調査」

1人あたりの観光消費額

2024年は、日本人が32,884円、外国人が41,351円となっており、増加傾向にはあるものの、特に外国人は宿泊費が約5割を占めており、地域経済全体への波及に課題があります。

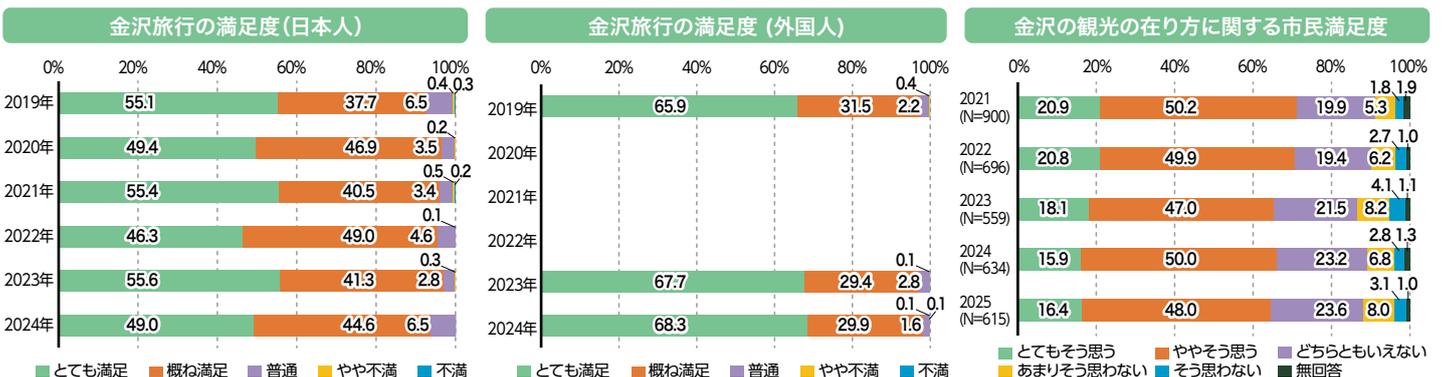


出典：金沢市観光調査結果報告書「金沢印象面接調査」

金沢旅行の満足度と金沢観光のあり方に関する市民満足度

金沢旅行での「とても満足」「概ね満足」の合計値は、日本人は2020年以降95%以上を維持していましたが、2024年は93.6%となりました。外国人は95%以上を維持しており、2024年は98.2%と高い水準になっています。

一方で、市民の金沢観光の在り方に関する市民満足度（「金沢は市民生活と観光が調和した『住んでよし、訪れてよし』のまちと思うか」との間）における「とてもそう思う」「ややそう思う」の割合は、2025年は64.4%となっており、減少傾向にあります。



出典：金沢市観光調査結果報告書「金沢印象面接調査」

出典：金沢市の観光に関するアンケート調査報告書「住んでよし、訪れてよしのまちであると思いますか」の回答

金沢の観光が目指す姿と戦略テーマ

金沢市持続可能な観光振興推進計画2026の戦略テーマ

住む人と訪れる人が共感を深め、 「ほんもの」を未来へと紡いでいくまち

金沢は、加賀藩前田家の城下町として発展し、藩政期に育まれた工芸や芸能などの伝統文化が、戦禍や大きな災害を免れて現在まで受け継がれてきました。これらは市民の誇りであり、世界に誇れる日本文化です。歴史的な都市構造や精神風土の上に新たな文化や建築を重ねてきた重層的なまちが金沢であり、伝統と革新の調和の中で独自の魅力を形成してきました。この重層性は古いものに現代的な感覚を取り入れる際の切り口であり、古くから積み重ねてきた伝統を軸としながら新しい文化や生活様式を織り交ぜていくことは、金沢における「由緒あるほんもの (Authenticity & Quintessence)」を未来へと紡いでいくことそのものです。現代にあってはSDGsの理念に沿って経済・社会・環境の調和を図ることも重要です。これらの営みを絶えず行うことこそが、持続可能な観光の振興、ひいては持続可能な地域社会の実現につながっていきます。

近年は、旅先で日常的な生活文化を体験する観光スタイルが浸透しており、これらは地域社会や市民の暮らしがあっこそ成り立つということも、改めて認識されなければなりません。一方で、金沢においても、一部の人気観光地では、一時的な観光客の集中やマナー違反により、市民生活に悪い影響を及ぼしているケースも散見されるようになってきました。今後、このようなオーバーツーリズムが常態化することがないように、観光客数の増加を目的とするのではなく、観光のもたらす多様な人との交流や経済的効果等を、市民生活の向上や景観の保全、文化の発展等の地域の課題解決のために上手に活用していくという視点で、幅広い分野を巻き込みながら、観光振興に取り組む必要があります。

本計画では、こうした考え方をベースに、住む人と訪れる人が金沢の価値を共有し、将来にわたって共に高めていける観光の振興を推進します。

金沢の観光が目指す姿

1 「ほんもの」を継承し、 世界をひきつけるまち

旅行者のほんものへの感度の向上や、金沢の文化や市民生活に敬意を払っていただくための機運の醸成に向けた施策を積極的に展開し、旅行者の満足度と市民の幸福度を共に高める「質の観光」をさらに進めます。

2 訪れるたび感動があり、長くいる ほど興行きを感じられるまち

金沢の多様で豊かな自然は、市民生活を彩り、繊細な美意識を醸成してきました。恵まれた自然環境を活かし、また歴史と風土に根差しながら、訪れるたびに新しい発見がある金沢、長く滞在するほど知的好奇心が満たされる金沢を目指します。

3 住む人と訪れる人が 価値を共に高めていくまち

金沢の自然・文化や市民生活を尊重し、旅先での意識や行動に責任を持つ旅行者と、足元の地域資源を見直し、旅行者に親近感を持つ市民が関係性を深め、金沢の魅力や価値を共に高めていくことを目指します。

4 広域観光の拠点として、 周辺地域を牽引するまち

北陸を始め広域観光のハブとして、関係自治体・団体との連携を強化し、金沢が周辺地域を牽引する存在となり、広域周遊観光を創造していきます。

5 新しい観光マネジメントを リードするまち

DXの活用を進め、旅行者の満足度向上や産業の成長、宿泊業の業務効率化や人材不足解消、安全・安心で快適な環境の整備を図ります。あわせて、観光人材育成に向けた子供たちへの学習機会提供、高等教育機関等との連携強化を進め、持続可能な観光マネジメントのかたちを創り上げていきます。

金沢を訪れてほしいターゲット像

観光客の傾向

- ローカルな体験を重視
- サステナブルな旅への意識の高まり
- 外国人旅行者の旅先としての「日本」への注目

金沢の持つ要素

- 飾らない「ほんもの」の日本を体感できるまち
- 伝統を守りつつ、新しい価値を生み出すクリエイティブなまち
- 市民の暮らしに根付く「日常」を大切にするまち



- 金沢が培ってきた「ほんもの」の日本に興味を持つ、知的好奇心旺盛な旅行者
- 自身の意識や行動に責任を持ち、金沢のまちの歴史や文化のあり方に共感する旅行者

数値目標

本計画では、5年後の金沢観光のあるべき姿を示す数値目標を設定し、目標達成に向け取組を進めていきます。なお、数値目標については、毎年開催する「金沢市持続可能な観光振興推進会議」において検証し、必要に応じて適切に見直すこととします。また、本市では、観光に関する市民意識調査や観光客に対する印象面接調査を毎年実施しており、これらの指標についても、随時モニタリングし、各主要施策・推進事業との因果関係を明らかにすることで、より実効性のある施策の展開を図っていきます。

基本的な考え方

- 市民生活と観光が調和したまちづくりを推進することで、市民と旅行者双方の満足度向上を目指します。
- 質の高い観光コンテンツの提供を通じて、リピーターや長期滞在者を増やし、金沢市内における消費額の向上を目指します。

指 標	令和6年(2024年)	令和12年(2030年)
■ 金沢の観光のあり方に関する市民満足度	65.9%	70%以上
■ 旅行者の金沢旅行の満足度(日本人)	93.6%	95%以上
■ 旅行者の金沢旅行の満足度(外国人)	98.2%	98%以上維持
■ 平準化率(年間延べ宿泊者数における閑散期(12月~2月)の割合)	22.7%	24.0%
■ 年間延べ宿泊者数(全体)	423.6万人	480.0万人
■ 年間延べ宿泊者数(外国人)	84.0万人	136.0万人
■ 年間延べ宿泊者数(欧米豪)	41.1万人	80.0万人
■ 観光入込客数(金沢地域)	1,098万人	1,200万人
■ 1人あたりの観光消費額(日本人)	32,884円	42,000円
■ 1人あたりの観光消費額(外国人)	41,351円	70,000円
■ 金沢での滞在宿泊数(日本人 2泊以上の割合)	33.9%	35.0%
■ 金沢での滞在宿泊数(外国人 3泊以上の割合)	27.9%	35.0%
■ 日本人の金沢へのリピート率	62.7%	75.0%

5つの基本戦略と主要施策

基本戦略1 住む人と訪れる人がまちの価値を共有し、共に高めていく機会の充実

主要施策1-1 金沢ならではの魅力の追求と再構築

- 推進事業
- 伝統芸能の後継者育成や茶屋文化の継承支援
 - 金沢が誇る文化の魅力を発信するイベントや大会の開催 等

主要施策1-2 訪れる人の責任ある観光の推進

- 推進事業
- 金沢で心地よく過ごすためのマナー啓発の推進
 - 市民と旅行者がともに楽しめるイベントの開催 等

主要施策1-3 市民の観光受容力ともてなし力の向上

- 推進事業
- 金沢の観光に関する市民意識調査の実施
 - 金沢市の観光が地域にもたらす効果の積極的発信 等

観光行動規範
「金沢観光たしなみ帖」
の普及啓発

基本戦略2 歴史と伝統に裏打ちされた、ほんものの魅力の創造・発信による文化観光の推進

主要施策2-1 金沢の豊かな文化や食を生かした付加価値の高いコンテンツの充実

- 推進事業
- 歴史、伝統工芸、伝統芸能等の金沢の豊かな文化を生かしたコンテンツの充実
 - 加賀料理等の食文化の奥深さや豊かさに触れる機会の充実 等

主要施策2-2 自然や環境を大切にしたい観光の推進

- 推進事業
- SDGs ツーリズムの推進
 - グリーンツーリズム・エコツーリズムの推進 等

主要施策2-3 長期滞在を促進するコンテンツの充実

- 推進事業
- 夜の賑わい創出に向けたナイトタイムのコンテンツづくり
 - おいしい朝ごはんなど朝を楽しむコンテンツづくり 等

主要施策2-4 テーマ性を重視した広域観光の推進

- 推進事業
- 北陸・飛騨・信州3つ星街道、北陸新幹線沿線都市、加賀藩ゆかりの地域との連携強化
 - 石川県、北陸エリアの連携強化 等

主要施策2-5 魅力あるコンテンツを提供できる事業者の育成

- 推進事業
- 金沢で活躍するDMCを始めとした観光事業者との連携強化
 - 多様な産業による域内連携の推進 等

基本戦略3 訪れる人の満足度を高める受入環境の充実と交流の促進

主要施策3-1 市内の回遊性向上による誰でもまち歩きを楽しめる環境づくり

- 推進事業
- わかりやすい案内サインの整備
 - 多言語でのまちなか交通ガイドの作成 等

主要施策3-2 市内や広域における交通円滑化の推進

- 推進事業
- 次世代交通サービス（金沢MaaS）の推進
 - 近隣市町や交通事業者との連携推進 等

主要施策3-3 誰もが快適に滞在できる環境の充実

- 推進事業
- 金沢駅・金沢中央観光案内所の運営
 - 多様な言語・食文化に対応した受入環境の整備と発信 等

主要施策3-4 観光地や時期の分散化の推進

- 推進事業
- 閑散期の魅力拡大・誘客促進
 - 季節ごとに異なる観光需要を補完し合う、白馬村との周遊観光の推進 等

主要施策3-5 高付加価値旅行者層の受入環境整備

- 推進事業
- 高付加価値コンテンツの造成促進
 - ラグジュアリーホテルの誘致促進 等

主要施策3-6 夜間の観光消費を高める環境の充実

- 推進事業
- 夜間の魅力ある景観づくり
 - 夜の賑わい創出に向けたナイトタイムのコンテンツづくり【再掲】 等

主要施策3-7 金沢の規模に見合った MICE・修学旅行の誘致と受入環境の充実

- 推進事業
- 金沢ならではの MICE の誘致と開催
 - 文化やスポーツのイベント誘致と開催 等

主要施策3-8 危機対応力の向上による安全・安心に滞在できる環境の充実

- 推進事業
- 常時からの避難訓練や備蓄の確保・研修
 - 事業者に対する災害時の対策の強化・研修の充実 等

基本戦略4 国内外からの誘客推進

主要施策4-1 的確な現状分析と戦略的マーケティングの推進

- 推進事業
- 国内外旅行者の観光動向調査の実施
 - 観光データの収集・活用によるマーケティング機能の強化 等

主要施策4-2 金沢の文化と親和性の高いターゲットに向けたプロモーションの強化

- 推進事業
- 歴史、工芸、芸能、食等に親和性の高い欧米豪地域への誘客プロモーションの推進
 - 台湾や東南アジア地域等への誘客プロモーションの実施 等

主要施策4-3 効果的な情報発信ツールの拡充・整備

- 推進事業
- 金沢市観光公式サイトの発信力強化
 - SNS を活用した発信力の強化 等

主要施策4-4 リピーター・ファンの獲得

- 推進事業
- 住みたくなるまちとして移住・二拠点居住の推進
 - 金沢のリピーター・ファンと連携した情報発信と収集 等

基本戦略5 地域で活躍する観光人材の育成

主要施策5-1 観光に理解を深める学習機会の提供

- 推進事業
- 金沢市の観光が地域にもたらす効果の積極的発信
 - 教育機関での観光分野の学習機会の充実 等

主要施策5-2 高等教育機関等との連携強化

- 推進事業
- 高等教育機関との共同研究などによる連携強化
 - 教育機関での観光分野の学習機会の充実【再掲】 等

主要施策5-3 観光産業における人材の確保・育成

- 推進事業
- 金沢 DMO の機能強化
 - 高等教育機関との共同研究などによる連携強化【再掲】 等

主要施策5-4 金沢の歴史・文化的ストーリーを伝えられるガイドの育成・充実

- 推進事業
- 金沢の魅力を伝える質の高い通訳ガイドの育成
 - 広域を案内できる通訳ガイドの育成 等

推進体制

本計画を推進するために、市民、観光事業者、金沢DMO、行政に、新たに旅行者と教育機関を加え、6つの主体が協働で取組を進めます。推進にあたっては、観光に関する市民アンケート、旅行者への印象面接調査の結果や、推進事業の実績を分析し、毎年開催する「金沢市持続可能な観光振興推進会議」において、推進事業や数値目標を検証し、必要に応じて、見直しを行い効果的な施策の推進に努めます。

市民	観光事業者
<ul style="list-style-type: none">● 金沢観光たしなみ帖の内容を大切に行動し、金沢のまちが藩政期から培ってきた個性を守り磨き上げるとともに、楽しみながら市民一人ひとりがガイドという意識を持ち、他者へ伝える。● 観光がもたらす影響について理解し、金沢の観光について興味・関心を高める。● 金沢市の観光政策、金沢DMOが取り組む事業、観光事業者が開発・提供している体験コンテンツを市民の視点から評価し、魅力を発信する。	<ul style="list-style-type: none">● 質の高い観光コンテンツを造成し、市民や旅行者に提供する。● 地域に根ざした観光コンテンツの造成による地場産業の活性化や市民の観光まちづくりへの参画を促す。● DXの導入等により業務効率化と働き方の改善を推進し、旅行者と交流する時間の質の向上等により、金沢滞在の満足度向上に努める。
旅行者	教育機関
<ul style="list-style-type: none">● 金沢観光たしなみ帖の内容を大切に行動し、金沢の奥深い歴史や文化を体験し理解を深め、金沢の人々との交流を楽しみながら、金沢の価値とともに高めると同時に、その発信に努める。● 住む人の生活を尊重し、金沢のマナーを理解し、地域との調和、環境への配慮を意識し、行動に責任を持って金沢での滞在を楽しむ。	<ul style="list-style-type: none">● 地域の観光課題の研究や様々な地域の行事へ学生等の積極的な参加を促し、地域の観光の発展に寄与する。● 学生等が金沢の歴史や文化を学び、市や地域の観光団体の活動に積極的に参加できる環境を整え、金沢を深く知り、愛着を持ち、価値や魅力を広く伝える観光人材を育成する。
金沢DMO	行政（金沢市）
<ul style="list-style-type: none">● 市民と旅行者の満足度が高まる観光まちづくりのマネジメントを行う。● 観光事業者やガイド向けに研修を実施し、金沢の個性・魅力を発信できる人材の育成を推進する。● データに基づいたマーケティングや顧客管理、ターゲットに向けた戦略的なプロモーションを推進する。● 「観光地域づくり法人の登録制度に関するガイドライン」の改正内容を踏まえ、市と連携し、専門性の高い組織体制の構築、安定した財源の確保に努める。	<ul style="list-style-type: none">● 市民も旅行者も快適に過ごせるまちづくりを行う。● MICE等の誘致、開催を支援する。● 広域連携体制の強化や金沢DMOと協働でプロモーションを推進し、誘客推進に努める。● 観光施策の効果検証を行い、市民や観光事業者等に広く発信し共有する。● 観光事業者のみならず、あらゆる産業が、垣根を越えて連携する域内連携を金沢DMOとともに推進する。また、宿泊税や国の制度を積極的に活用して財源の確保に努める。

たしなみ、たのしむ。 金沢観光たしなみ帖

住む人と訪れる人がともに、金沢の個性や魅力を感じつつけられるよう、以下のことを大切にしましょう。

1. ^{まな}学ぶ。 工芸や芸能などの奥深い文化や歴史を知り、体験しながら楽しみましょう。
2. ^{あじ}味わう。 加賀料理や海の幸などの地場の恵みを食し、地域の生業を応援しましょう。
3. ^{つむ}紡ぐ。 このまちの景観や歴史的文化財の価値を、思いやりを持って未来へ繋げましょう。
4. ^め愛でる。 緑や水と触れ合いながら、森や清流などの美しい自然を守り育みましょう。
5. ^う受け^い容れ^あ合う。 暮らす人も旅する人も互いに共感を深め、金沢の価値を高め合っていきましょう。

お問い合わせ

金沢市経済局観光政策課
〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号
TEL：076-220-2194 FAX：076-260-7191



発行：令和8年2月